

中国語 使役構文

使役とは

日本語でいうところの「～に～をさせる」という表現。例えば「後輩にパンを買いに行かせる」や「母は私に食器洗いをさせる」などの言い回しが使役に当たります。

中国語の使役構文の語順は決まっていますのでさっと覚えてしまいましょう。

	語順
肯定形	「主語」 + <使役動詞> + 「目的語」 + 「動詞」
否定形	「主語」 + 「不/没」 + <使役動詞> + 「目的語」 + 「動詞」
疑問形	「主語」 + <使役動詞> + 「目的語」 + 「動詞」 + 「吗」?

*否定形：「不」を使うと『～させないようにする』と断定/禁止を表す場合が多いのに対して、「没」を使うと単なる事実を客観的に否定しているだけなので「～させなかった」と訳します。

使役動詞一覧

ここではよく使う使役動詞「叫」「让」「使」「令」「请」「派」「催」「吩咐」「要求」「命令」の10個をその違いと共に簡単に紹介していきます。

使役動詞	意味
叫 jiào	言いつけて～させる
让 ràng	その人の望みどおりにそうさせてあげる
使 shǐ	～させる（ある原因で非動作的な結果をもたらす）。 ”让”、”叫”とは異なり、積極的に働きかける使役動詞ではなく、ある出来事が原因で自然とある結果をもたらすものを表す。

令 lìng	“使”と同様、意図的に人を行動させるのではなく、ある原因で何らかの勘定を変化させる時に使う。後ろに感情や気持ちを表す言葉を置き、よく「令人」の形で見かける
请 qǐng	～してもらう
派 pài	(人)を派遣して～させる
催 cuī	(人)に～するように催促する／せかす
吩咐 fēn fù	「(人)に～するように言いつける」命令口調なので、社会的地位の高い人を目的語に取ることは推奨されない。
要求 yāo qiú	(人)に～するように要求する
命令 mìng lìng	(人)に～するように命じる

*語順は全て同じです。上記の語順の使役動詞の位置にこれらを入れるだけです。

*「叫」と「让」には表のような微妙なニュアンスの違いが存在しますが基本的には相互に交換が可能な場合が多いです。ただし「私に～させてください」とお願いをするような表現の際には「让」を使うのが一般的です。

例文で確認しよう

叫	我妈妈经常叫我做作业。 お母さんはいつも私に宿題をやらせる
让	我们应该让他接纳。 私たちは彼を納得させるべきです。
使	李老师的话使我很感动。 李先生の話は私を感動させました。
令	他的学习成绩令人担忧。

	彼の成績は人を心配させる（本当に悪い）
请	我们请导游介绍一下北京的观光名胜吧
	ガイドさんに北京の観光名所を紹介してもらおうよう頼もうよ。
派	公司派我的前辈去北京工作。
	会社は私の先輩を北京で働くよう派遣した。
催	我爸爸催我去买啤酒。
	父は私に酒を買いにくように促した。
吩咐	班主任吩咐我努力学习。
	担任の先生は私に一生懸命勉強するように言いつけた。
要求	学生们要求校长听一听他们的意见。
	学生側は校長に学生の意見を聞くように求めた。
命令	部长命令我到上海出差去。
	部長は私に上海に出張させた。

*基本的にはアスペクト助詞“了”“着”“过”は直後に置かない